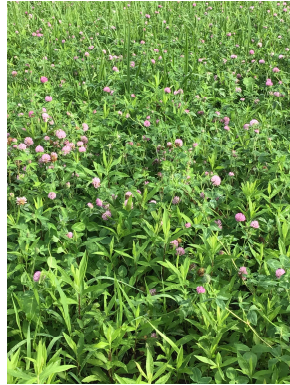


7月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 鳥飼仁和寺大橋～枚方大橋		
モニター実施日時	令和元年7月17日（水） 7時～ 8時 令和元年7月21日（日） 14時～16時		
天 候	両日とも曇天		
<p>(見出し)</p> <p>今月は淀川左岸の仁和寺野草地区～枚方地区についてモニターしました。 芝生広場の使用状況、看板の異常、植物の状況について報告します。</p>			
<p>17日未明（3時～5時）の雷雨も収まったこともあり、木屋元地区から枚方大橋までをモニターしました。思ったよりもゴミは少なく、利用者のマナー、関係者の清掃活動含めたたゆまぬ努力の賜物だと感心しました。1時間のモニターの間に気になった点を2点ご報告します。</p> <p>伊加賀野草地区の芝生広場において、ゴルフをしておられる初老の男性が1人いらっしゃいました。7時という時間帯もあり、人の数も少なく、危険性は高いように感じませんでした。不慮の事故の恐れはあります。注意を促す看板も周辺に設置されていましたので、是非控えて頂きたいです。</p> <p>もう1点は伊加賀野草地区と三矢地区の間あたりに「淀川浸水想定区域図」をお知らせする看板が設置されていましたが、周りの植物に囲われかけているだけでなく、看板の劣化もあり、見えにくい状況でした。河川流域にお住まいの方にとって、非常に重要なお知らせかと思いますので、改善して頂くようご検討ください。</p>			
			
<p>21日は木屋元地区から鳥飼仁和寺大橋までモニターしました。日曜日で梅雨の合間の曇天ということで多数の方が利用されていました。ランニング、サイクリング、小さい子どもをお連れのご家族に加え、BBQ、少年のサッカー、野球、マーチングの練習と様々な団体が利用していました。マナー良く利用されているように思いました。</p> <p>我々の市民生活に欠かせない水源であることはもちろんのこと、市民の憩いの場としても欠かせません。また、近年多発する自然災害の防災、減災としての役割等、多様な役割を担うこの淀川河川公園。皆で守っていく意識を持ってもらいたいです。</p>			

梅雨明けも例年より遅く、過ごしやすい日々が続くこの7月。自転車通勤をしていることもあり、体感的に心地よい時間を過ごすことができている。そんな折、堤防を見上げると芝生の緑と薄紫の美しいコントラストが目にとまりました。近くで見ると、シロツメクサと瓜二つ。ただし、色はもちろんのこと、背丈が大きく違い、シロツメクサに比べ、高いです。家で調べると「アカツメクサ」と呼ばれる花だそうです。澄んだ空気とともに癒される一時となっています。



7月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

7月分のモニターレポート有り難うございました。

これから一年間よろしくお願いします。

今年も猛暑の年酷暑の日が続きます、また雪の舞う季節もやってきます、これからのモニターの際は気候に留意して体調には充分注意をしてください。

淀川は水や緑、多様な生態系など自然環境を育む貴重な公共空間であり、従来より水利用などの生活のために必要不可欠な場であるとともに、近年では貴重な自然体験、交流の場となっています。

モニターして頂きましたように河川敷での散策などの目的で多くの方々が淀川を利用されています。

これら以外に様々な用途・目的で多くの方々に淀川は利用されています。

そして台風などの大雨を下流の海まで安全に流下させる施設として。

淀川の利用が多様化したことにより、様々な問題（ゴミ、不法占用や迷惑行為等）も発生しています。

一年間、この淀川の多様化した利用を一般の市民目線で、無理のない範囲でご担当のエリアをモニターしていただければと考えております。

河川公園内でのゴルフの練習は他の利用者に対する危険な行為になります。

また、公園の施設である芝生を傷める行為です。

淀川では河川公園以外の河川敷（許可を受けたゴルフ場を除く）も含めて素振りを含めたゴルフの練習は禁止としております。

淀川河川事務所では、「想定し得る最大規模」の降雨に対応した新しい「洪水浸水想定区域図」を平成29年6月に公表しました。

詳細な地盤情報をもとに、前回の100倍の精度でシミュレーションを実施し、中小河川についても現実的にモデル化し表現した結果、浸水面積は前回公表したものより全体としてやや減少しております。

浸水深については、深くなった箇所、浅くなった箇所があります。

写真の看板は従前の「洪水浸水想定区域図」に基づくものため撤去予定です。

それでは8月のモニターレポートをお待ちしております。